

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

事業所名 多機能型事業所リズム 保護者等数(児童数) 22 回収数 15 割合 68 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	無回答	ご意見	ご意見を踏まえた 対応	
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	14	1					室内だけでなく、学習室、スイミングスクール、学童VI-VAや中庭など色々な場所で活動や遊びができるようにしています。	
	2 職員の配置数や専門性は適切である	13	2				・スタッフの方の専門性が分からない	研修を通して、専門性を高めていきます。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	14	1				・この場所はこれをする本人は理解して楽しんでいる。	視覚的に分かりやすくなるように、絵やシール、ラインなどで視覚的に分かりやすくした、マットなどの道具を使って場所が分かるように工夫をしています。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	14	1					お子様が使いやすい片付けしやすいような環境整備に努めています。	
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	14				1		フェイスシートや面談・担当者会議などでニーズを把握し、発達に応じた課題への計画を立てるようにしています。	
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	14					1	・イベント等もたくさん考えていただき、コロナであまり動けない中で、本人は大満足で「リズムで出かけた所に、家族で行こう!」とほかの兄弟に自慢しています。	ガイドラインに則って、お子様が楽しみながら活動できるように工夫をしています。これからも楽しんでもらえるように企画していきます。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	15							お子様一人ひとりに応じた支援になるようにしています。
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	15							活動を楽しみながらできるようにゲーム性を取り入れるなどの工夫をしています。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1	2	1	9	2	・コロナの為難しいかと…	未就学のお子様との交流を望んでいますが、感染症予防の観点から交流は難しいようです。同じ敷地内の学童クラブの小学生とはイベントなどで交流の機会をもつようにしています。	
適切な支援の提供	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	14	1					契約時に読み合わせをして確認をしています。	
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	12	2				1	・支援内容が説明されたのか分からないため	新型コロナウイルス感染拡大予防のため、お会いしての説明が少なくなり申し訳ありません。
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニングiv等)が行われている	2	2	1	8	2			感染症予防や、休校・分散登校への対応のため行うことが出来ませんでした。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	15						・できる事、できた事を上手にほめていただいて、本人もやる気アップ	連絡ノートなどでお子様の様子をお伝えするようにしています。また、保護者様からもお子様のことを連絡ノートやLINEなどで詳しく知らせていただいており、大変感謝しています。
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	13	2					・発達支援以外にも助言いただき、とても助かっています。	保護者様に寄り添っていただけるように努めています。
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	1	2	2	8	2	・コロナなので難しいかと思います		コロナで実施できず申し訳ありません。感染症の状況を見ながら開催を検討いたします。
16 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	15						・急なお願いも、りんきおうへんに対応していただいてありがたい。	迅速かつ適切に対応するように心がけています。	

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	無回答	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	15					・こちらの疑問をすぐ答えていただいている。	お子様のリズムでの様子を連絡ノートやお電話などでお伝えするようにしています。
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている	14				1	・子どもも毎月の自分の会報を楽しみにしていて、自分の写真を見つけて喜んでいきます。 ・ライン等でイベント等のお知らせや、手紙でも教えてくれている。	ミニリズム便りを通して、活動やお子様の様子をお伝えするようにしています。
	19 個人情報の取扱いに十分注意されている	14				1		書類は、鍵付きの書庫にて保管・管理しています。
非常時等の 対応	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	14				1		避難訓練は、年2回行っております。
	21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	12	1		1	1	・避難訓練したと言っていました。	防災週間を設定し、避難訓練や紙芝居、動画を通して学べるようにしています。
満足度	22 子どもは通所を楽しみにしている	15					・行き渋りはあるが、行ったら行ったで楽しんでいる様子が見られる。 ・もっと通いたいと言っています。	お子様一人ひとりが“安心して楽しめる場所”となるように、今後も取り組んでまいります。
	23 事業所の支援に満足している	14	1					お子様と保護者様に寄り添った支援ができるように努めてまいります。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業所職員向

児童発達支援自己評価表

		チェック項目	はい	いいえ	無回答	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	1		人数が多いと狭く感じる。机やイスなどを移動して、活動場所を広くしている。また、学習室・スイミングスクール・学童VI-VAなど敷地内の部屋を活用している。
	2	職員の配置数は適切であるか	3	3	1	適切に配置をしている。しかし、もっと個別に支援をしてあげたいと思うことがある。ビッグとミニで臨機応変に対応している。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	7			荷物を置く場所、活動する場所など視覚的に分かりやすくなるようにしている。また、手洗い場には踏み台を置いている。イラストや写真を活用して、おもちゃの片付け場所が分かるようにした。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	7			感染症予防のために昼食・おやつの前後に拭き掃除による除菌を行っている。遊びスペースには、マットを敷いている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	7			毎月のミーティングで改善を図っている。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7			戻ってきた評価に目を通し、改善すべきことについて話し合っている。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7			評価の結果をホームページで公開している。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	6		第三者評価事業は活用していない。連携できる外部パートナーを探したい。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7			事業所内で研修を実施している。テーマは職員の見解を聞いて決定している。また、外部の講師を招いた研修も行った。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	7			契約時やモニタリング、担当者会議で思いを聞き取り、支援計画を作成している。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7			標準化されたアセスメントツールを活用している。よりよいものはないかと検討している。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	7			保護者や子どものニーズを把握し、必要な支援を行っている。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	7			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6		1	ミーティングを定期的に開催し、プログラムを立案している。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7			同じ活動ばかりにならないようにアイデアを出し合って組んでいる。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	7			

		チェック項目	はい	いいえ	無回答	工夫している点、課題や改善すべき点など
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7			ミーティングを行っている。送迎場所と時間、体調などの情報共有し、その日の支援の内容と役割分担の確認を行っている。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7			待機職員を中心にふりかえりのミーティングを毎回行い、支援の内容や子どものことについて話し合っている。内容は日報に記録している。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7			日報を作成し、支援の検証・改善につなげている。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	7			モニタリングを実施し、計画の見直しを行っている。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7			児童発達管理責任者が出席している。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	6	1		
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか		7		在籍していない。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか		7		在籍していない。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6		1	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	3	3	1	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	5		
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	5	2		併設する学童クラブVI-VAとクリスマス会を実施した。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		6	1	機会が合えば、参加したい。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7			連絡ノートや電話、LINEを活用し、共通理解を図っている。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		6	1	今年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響で実施することができなかったが、落ち着いた場合は、実施を計画している。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7			契約時に説明している。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	7			署名・押印を得ている。

		チェック項目	はい	いいえ	無回答	工夫している点、課題や改善すべき点など
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7			連絡ノートや電話、LINEなどを活用し、支援をしている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		7		今年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響で保護者会を実施することができなかったが、落ち着いた場合は、実施を計画している。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7			事実を把握し、迅速かつ適切に対応している。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7			毎月、ミニリズム便りを発行している。必要に応じてLINEも活用している。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	7			書類は、鍵の閉まるロッカーを活用している。職員で声をかけ合っている。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7			連絡ノート・電話・LINEなど複数の媒体を使って意思の疎通や情報伝達を図っている。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		6	1	新型コロナウイルス感染拡大予防のため実施していない。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	7			策定し、職員で共有している。保護者へ周知できるように説明していく。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7			定期的に訓練をしている。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	7			職員で共通理解をしている。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	7			保護者を通して指示を受けている。成分表を確認しながら提供している。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7			記録を残している。それを基に事例集を作成し、共有している。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7			虐待防止委員会を設置している。また、日常的に子どもとの関わりについてふりかえりを行っている。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	7			行っていない。行う場合のマニュアルは策定している。

○この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。